

## 令和6年 築上町教育委員会（2月定例会）議事録

1. 日 時 令和6年 2月28日（水） 午前10時00分開会
2. 場 所 コマーレ 女性ホール
3. 出席委員 麥田 猛美 教育長職務代理者、折本 美佐子 委員、小林 正尚 委員、  
鱒淵 尚徳 委員、久保 ひろみ 教育長
4. 欠席委員 な し
5. 傍聴者 2 名
6. 事務局出席者 鍛冶 孝広 学校教育課長、尾座本 三雄 生涯学習課長、  
樽本 知也 教育施設整備室長、野村 仁資 スポーツ振興係長、  
藤江 崇 教育施設整備係長、宮内 智久 指導主事、  
榎 憲治 指導主事、毛利 克裕 地域活動指導員

午前10時00分開会

---

### 7. 会議内容

#### (1) 開 会

○教育長（久保 ひろみ君） 皆さんおはようございます。それでは定刻になりましたので、築上町教育委員会、令和6年2月定例会を開会いたします。委員の皆様方におかれましては、お忙しい中、定例会に御出席いただきましてありがとうございます。

お手元の資料にありますように、本日は、報告事項が2件、議案が1件、協議事項が1件ございます。どうぞよろしくお願ひいたします。

それでは、本日の会議の議事録署名人を、会議規則第11条第2項の規定により、小林委員を議事録署名人に指名いたします。

では、2点目の前回議事録の承認でございます。事務局からお願いいたします。

#### (2) 前回議事録の承認

○学校教育課長（鍛冶 孝広君） おはようございます。学校教育課の鍛冶でございます。前回議

事録の承認でございますが、1月定例会の議事録を事前にタブレットに送付をさせていただいておりました。何かございますでしょうか。よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○教育長（久保 ひろみ君） 異議ないものと認めます。前回の議事録は承認されました。

（3）教育長報告

報告1 教育長会議報告

○教育長（久保 ひろみ君） それでは、続いて報告に移りたいと思います。

教育長報告を私のほうからさせていただきます。事前にタブレットのほうに2月9日に行われました教育長会議の資料を事前送付させていただいております。令和6年度の学力調査等々、日程等が載っておりますが、御確認いただいたことと思います。

特に何か質問事項はございませんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○教育長（久保 ひろみ君） ありがとうございます。

続いて、私のほうから、前回の教育委員会から以降の事業でございますけれども、2月12日月曜日にオクーンコンサートがありました。委員の皆様方にも御参加いただいたところではございますが、多くの町民の方々に参加いただいて、本当に音楽を楽しんでいただいたと思っております。ホールいっぱいの、8割から9割ぐらいは入っていたと思っておりますが、多くの方々が入っておられまして、本当によかったと思っております。

それから、教職員に関しては、2月20日に次世代リーダー養成講座を開催いたしました。この中で、築城中学校に在籍しておりまして、今、京築教育事務所の指導主事をしております中野指導主事から、1月1日に起こりました能登半島の地震に際して災害派遣に行かれたということで、その内容について報告をしていただきました。中野指導主事については、珠洲市等々から集団で避難をしております中学生の支援を行ったという報告がありました。遠く、故郷から離れて、金沢市のスポーツ施設等に寝泊まりをしながら学習をしている生徒さんの指導を行ったという報告でした。特に、夜、宿泊しているときの見回りとか、子どもたちの支援、それから、いろんなサポートを行ってきたということで報告があったところです。

一見、元気になっている子どもたちですけれども、お家が全壊しているとか、いろんな大変なことがあって様々な悩みも抱えているということで、そういう中での支援ということで、大変勉強になったというか、実際に現場を訪れて分かったこと等々を話していただきました。先生方もその話を聞いて、本当に、自分たちもできることをやっていかなければならないというような御意見も得たところでございました。

以上、私の報告を終わります。

ただいまの件について質問等はございませんか。よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

#### (4) 事務局報告

##### 報告2 指導主事報告

○教育長（久保 ひろみ君） それでは、続いて事務局報告に移ります。報告2、指導主事の報告をお願いいたします。

○指導主事（宮内 智久君） 宮内でございます。私のほうは、町内小学校学力検査結果についてということで、本来なら寺門が報告する予定でしたけれども、指導主事会議が今日入っております、私から代わって説明させていただきます。

令和5年度学力調査のほうを見ていただきたいと思います。

これは、国語、算数、合わせた部分で、1年生、2年生、3年生から6年生までの伸びを示しているところでございますけれども、おおむね全国平均を上回っているということでございます。学年によって若干の差はありますけれども、そこは、また、修正をしながら進めていっていい結果を出しつつあるということです。

また、教科別でいきますと、別の資料になりますけれども、まず、国語の異集団というのを見ていただきたいと思います。異集団、同じ学年を見ていくのではなく、その年、その年の年度なんですけれども、おおむね、年々平均以上になっているということがこれでお分かりだと思います。

また、中1ギャップのお話が出ておりますけれども、そういった意味では、かなり改善されつつあるというのがこれでお分かりになるかと思えます。中学校1年生で全国平均を上回っているということです。

また、算数のほうを見ていただきますと、中学校は数学になりますけれども、これも国語と同様に年々取組が行われておまして、伸びがよくなっているということでもあります。

以上、私のほうから学力検査結果について報告を終わらせていただきます。

○指導主事（榎 憲治君） 榎でございます。私のほうから、まず1点目は、毎月の不登校、兆候児童生徒数と、それから、いじめ発生件数についてでございます。

まず、不登校と兆候の児童生徒数であります。少し、まだ増加の傾向にございます。ただ、改善傾向が見られる子どもたちが増えてきております。中学3年生、受験の進路決定でございますが、これまで不登校でしたが、進路が無事決まったという子どもたちも多数出ております。次の進学先でも学校に通えるようにとみんな願っているところでございます。

それから、不登校のもう一つの傾向として、兄弟で不登校にあるというようなこともあります。そこも、要対協と連携を取りながら、いろんな支援に努めていきたいと思っております。

それから、いじめが、築城中、3件ございましたが、軽微なものということで、いずれも解決が図られております。

続きまして、全国体力・運動能力、運動習慣等の調査の結果について、本町について説明をいたします。

まず、小学校、小5と書いているファイルをお開けください。特徴的なところだけ説明をしてみたいです。

まず、1番の体格集計のところでございます。

本町では、体格は、全国・県と比較して、男子は身長・体重ともに低く、女子は体重が高いという傾向。それから、肥満度については、女子は高度と軽度の割合が高いという、そういった特徴がございます。

続いて、2番目の実技集計のところでございます。

本町の傾向としましては、男子は8種目中5種目の合計点が全国・県より高いということ。それから、総合評価では、A層が少ないもののB層とC層が高いと、そういうことになっております。それから、女子は全国・県を上回るのは2種目のみで合計点も低く、それから、3ポイント以上低い種目が多いということになっております。それから、総合評価では、B層が極端に少なく、C層、D層が多いという傾向がございます。

続いて、3番目の質問紙の集計でございます。

本町では、睡眠時間が8時間以上の割合が、男子は全国・県より10%以上高い、よく寝ているという傾向があるようです。それから、今、話題になっております学習以外のスクリーンタイム、いわゆるパソコンとか、ゲーム類の画面を見る時間、この4時間以上の割合ですが、男女とも全国・県よりは低いというふうになっております。

それから、体育が楽しいと答えた児童は、男子は全国・県とほぼ同じですが、女子は少し低くなっているということでございます。

それから、望ましい点といたしまして、体育の授業で、効果的にICTを使っている割合、タブレット等を使っている割合が、男女とも全国・県よりかなり高いという、そういう状態でございます。

続きまして、4番目の一週間の総運動時間、一週間420分ということは1日60分、1時間運動しているかという、そういった調査でございますが、一週間の総運動時間が420分以上の割合は、残念ながら、男女ともに全国・県を下回っているという状況でございます。

続きまして、中学校2年生のほうをお開けください。

まず、1番の体格集計でございますが、体格は、全国・県と比較して、男子は身長がわずかに低く、女子は身長が低くて体重が高いということになっております。それから、肥満度は、男子

は軽度の割合がやや高く、女子は中等度の割合が高いということになっております。

それから、2番目の実技集計でございますが、男子は9種目中6種目の合計点が全国・県より高いということ、A層は少ないけれどもB・C層が多いということになっております。それから、女子は3種目で全国・県を上回っておりますが、3ポイント以上低い種目が多くあるということでございます。

それから、3番目の質問紙の集計でございますが、小学校5年生と同じ、中学2年生も睡眠時間が8時間以上の割合が非常に高いということ、それから、これはあまり望ましくないのですが、スクリーンタイムが4時間以上の割合が男女とも全国・県を上回っているという状況でございます。

それから、望ましい点として、小学校5年生と同じように、効果的にICTを使っている割合が全国・県よりもかなり高いということになっております。

それから、4番目の一週間の総運動時間420分以上の割合ですが、男子は全国・県とほぼ同じですが、女子はわずかに下回っているということでございます。

体力調査につきましては、もう少しすると、今度は福岡県の結果が出てまいりますので、そういったものを分析しながら、各学校に改善を伝えていきたいというふうに思っております。

以上でございます。

**○教育長（久保 ひろみ君）** ただいま、指導主事から町の学力調査の結果、それから、不登校、いじめ等の現在の状況、そして、体力テストについて結果が出ておまして、その結果についての説明でございましたが、質問や御意見はございませんか。よろしいですか。

折本委員さん、どうぞ。

**○教育委員（折本 美佐子君）** 折本です。5年生の体力のことなんですけれども、調査の結果、女子が体重の面で上回っているということと、あと、実技が苦手というか、低いということで、そこは密接につながりがあるんだろうと思うんですけれども、これを見させていただいたときに、コロナ禍だったから仕方ないのかなと思ったんですが、全国も同じコロナ禍だったわけだから、やっぱりこれが築上町の問題になってくるのかなと思ひまして、今後、体育、体を動かすことを勧めるというのは、どう勧めるのかという問題はあるかとは思ひなんですけれども、体育の実技を通じて、子どもたちが、女の子たちが、楽しく体を動かしてもらえるようになればいいと、そのように思っております。どうぞよろしくお願ひします。

**○教育長（久保 ひろみ君）** ありがとうございます。担当のほうから、少し、つけ加えてお願ひいたします。

**○指導主事（榎 憲治君）** 子どもたちの運動習慣でございますが、先ほど420分という、1日1時間以上、これは全国の1つの目安になっております。学校のほうは、体育の授業以外に1校

1取組ということで、体育の授業以外に何か運動する機会を与えているということ。それから、もう一つは地域にスポーツをする場所があるかという調査も実はあっているんですが、本町は、あってもそういったところに通っていない数も多いという、そういった状況でございます。

いずれにせよ、体育の授業の改善であるとか、運動に親しむ時間を学校の中で取るとか、あるいは学校外で、そういった体を動かすことの大切さとかを伝えていきたいというふうに思います。以上でございます。

○教育長（久保 ひろみ君） では、宮内指導主事、お願いします。

○指導主事（宮内 智久君） 宮内でございます。肥満に関しましては、給食がおいしいんです。これは本当に、小学校も当然そうですし、中学校も、本当によく食べるということで、それは先生たちも言っていて、あと、その分の運動をやはり、先ほど申しましたけど、させていかななくてはいけないということと言われておりました。

以上です。

○教育長（久保 ひろみ君） 他にございませんでしょうか。男子、女子とかいうわけではないんですけど、やはり、スポーツを楽しんで長くできるものに出会っていくということも大事だろうと思いますので、体育の授業から延長線上に、何か体を動かせるような取組とか、1校1取組、そういうものもこれまで行っていたようですので、ちょっと工夫して、子どもたちがやりたくなるようなものが提供できたらいいというふうに思っているところでございます。

他に委員さん方ございませんでしょうか。御意見でも結構でございますが、いかがでしょうか。小林委員、お願いいたします。

○教育委員（小林 正尚君） 今、指導主事から取組についてはもうあっているのでもいいんですが、小学校の段階で、最近なんか特に、自分はちょっと離れましたけど、昔のように休み時間になったらワーワー言って、いろいろ走って回って、草も生えないぐらい、女子はゴム飛びをしてみたり、いろいろやっていたんですけど、そういうのもだんだん無くなってきて、そういった意味で、1つの取組とか、遊びを教えるとか、そういう材料を子どもに与えるのも大事な、遊び自体を知らない子どもも増えてきて、何かそういうところで、ちょっとレクリエーション的なのも大事なと思います。もともと、築上町はスポーツ振興の町で、昔、物すごく盛んにやっていたので、親世代とか、その辺は結構体を動かしてきたと思いますので。取組については、いいと思いますので、よろしくをお願いします。

○教育長（久保 ひろみ君） 榎指導主事、お願いします。

○指導主事（榎 憲治君） 不登校問題とか、生徒指導に関わることで学校訪問に行くんですが、中休みとか、あるいは昼休みとか、特に小学校では先生たちが一緒にグラウンドに出て、子どもたちと一緒にワーワー遊んでいるようなことがあります。

ああいった教師の姿勢というのが、子どもたちのそういった遊びであるとか、運動であるとかにすごく影響すると思いますので、本当に望ましいことで、また、それを学校側に伝えていきたいと思います。

それから、中学校ではボールの貸出しとか、用具の貸出しがありますので、その点についても積極的に外遊びとかをするように、また伝えたいと思います。

以上でございます。

○教育長（久保 ひろみ君） 他に委員の皆様方ございませんか。折本委員、お願いします。

○教育委員（折本 美佐子君） 折本です。本当につい最近なんですけど、それこそ小学校5年生なんですけど、子どもから聞いたんですが、休み時間のグラウンド、校庭の使い方というものルールがあるらしくて、大きい子たちが、高学年がワーと遊んでいたら低学年が怪我したりするということだと思うんですけれども、そういったことがあるということで、学校のほうで使い方を工夫してやってくださっているようで、それは非常にありがたいと思うんですけれども、こういう結果が出たということで、高学年の女子も率先して外で遊ぶような機会を設けてあげて、意識して声かけして下さったらいいと思います。よろしくをお願いします。

○教育長（久保 ひろみ君） ありがとうございます。他はよろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○教育長（久保 ひろみ君） それでは、報告事項を終わりたいと思います。

#### （5）議事

議案第4号 築上町学校教育情報化推進計画の策定について

○教育長（久保 ひろみ君） 続いて、議事に移りたいと思います。

資料は議案資料を御覧ください。大丈夫ですか。それでは、議案第4号 築上町学校教育情報化推進計画の策定についてを議題といたします。

では、事務局から説明をお願いします。

○学校教育課長（鍛冶 孝広君） 学校教育課、鍛冶でございます。築上町学校教育情報化推進計画の策定についてということで、これについては、12月の定例会で協議事項として御協議をいただいたものでございます。その後、持ち帰っていただいて、内容確認等をお願いをしていたものでございます。

提案理由といたしましては、令和元年6月に制定されました、学校教育の情報化の推進に関する法律、これに基づきまして、令和4年12月26日、学校教育情報化推進計画というのが国のほうで策定をされました。これに基づいて、令和5年3月24日に福岡県教育委員会から令和4年3月に出されてた、福岡県学校教育ICT活用推進方針、これを福岡県の学校教育情報化推進計画として改めて位置づけるという旨の通知があったところでございます。

築上町教育委員会としまして、この通知を受け、学校教育の情報化の推進に関する法律第9条第2項に基づき、国と福岡県の推進計画を基に、本町の教育の情報化を進展させ、学校教育環境をさらに充実をさせるために、築上町学校教育情報化推進計画案を作成しましたので、承認を求めらるるものでございます。提案理由としては以上でございます。

○教育長（久保 ひろみ君） 指導主事、お願いいたします。

○指導主事（宮内 智久君） 補足でございます。宮内でございます。

12月にお示ししたときは、表紙のところが令和5年だったと思います。現在6年ですので、令和6年ということで修正しております。

それから、5ページをお開きいただきたいと思います。

5ページの下段、表のところを見ていただきまして、小学校の社会科は4年生から今年度は配付しております。それから、横にいきまして、中学校の1年生、2年生も配付しております。それをちょっとつけ忘れておりますので追加をお願いいたします。

また、その下の段の地図帳ですが、地図帳は3年生で配付しておりますので、そこに追加で丸をつけさせていただいております。

よろしいでしょうか。

この児童用デジタル教科書に関しましては、文科省が出しているのは英語だけなんです。英語ともう1教科希望ということでしておりますが、このように、国、算、理、社、英、地図、全て入れているところは、山本朋弘中村学園大学教授が、これだけ入っているという所を初めて見るということをおっしゃっております。このことによって、子どもたちがタブレットを自宅に持って帰って予習・復習ができるということ、だから、教科書を置いて帰れるということなんです。そういった意味では、大変すばらしい、先進的な取組であるということをおっしゃっておられました。

次に、14ページをお開けください。

14ページの上の段の指標のところ、学校情報科先進校認定校の数及び学校情報科先進地域の認定というのがありまして、令和5年度を目指していたところが、ちょっと難しいかと思いましたが、声かけをすることによって、今、10校中7校が学校情報科先進校の認定を受けています。残りのうち2校も、今、申請をしておりますので、令和5年度中には実現可能だということで、この前、ちょっと訂正と言いましたが元に戻させていただきたいと思っております。

これは、認定されれば、福岡県では地域としては5番目になります。全国でも35番目ぐらいになろうかと思っております。

また、もう一つ、そこにグーグル認定教育者数というのがありますけれども、これはグーグルの検定試験ですけれども、町内で、今、11名受かっております。これも県内ではトップクラスで、人口比、教員数から比べると当然トップクラスであるということです。

この推進計画案について、御承認いただければ、来年度に向けて本当に全国でもトップクラスの情報教育の推進地域になっていくかと思っています。なお、これに関しましては、東京都等も、現在、学校教育情報科推進計画というのを出している状況で、全国的に、今、これを出しているような状況でございます。

以上でございます。

○教育長（久保 ひろみ君） ただいま事務局のほうから説明がございました。ここで委員の皆様方から御質問及び御意見を受けたいと思いますが、どなたかあれば、よろしくお願いいたします。折本委員、よろしくお願いいたします。

○教育委員（折本 美佐子君） 折本です。この資料を見せていただいたときに伺おうと思っていたんですが、今、ちょうど宮内指導主事がおっしゃった-google認定教育者数というのが11名もいらっしゃるといふことで、すごいと思いました。

ちょっと前後しますが、今後としては、そういう認定される先生が増えていって、そういう方たちが各学校に異動というか、行かれて、苦手な先生もその先生たちに習いながらというニュアンスですか。

○指導主事（宮内 智久君） まず、-google認定の前の、もう一つ、先ほど申しました学校情報化先進校という、この認定も先生たちの指導力のレベルが通常よりも上であるということが前提になっているわけです。さらに、-google認定教育者というのは、今、教育委員の皆さんにお配りしているタブレットが-googleで、学校もこの-googleで全部やっているわけです。そういった細かい、昔は、ウィンドウズのワードとかそういうような使い方を、今は-googleの中でのスプレッドシートとか、そういったものを使って効果的にやっているということが認められたということになりますので、そういった先生方が、さらに異動等によって広めて、さらに増えていく。まずは、先生たちの数を広げていきたいと。

日頃やられていれば、これはもう、先ほど申しましたけれども、本町ではそういった技術はものすごくレベルが高いですので、もっと増えると思いますので、今後はそういった資格を持った先生方が必要になってくるし、ニーズとしては高まっていくだろうと思っているところですので、まだまだ増やしていきたいなと思っているところです。

○教育長（久保 ひろみ君） 折本委員、よろしくお願いいたします。

○教育委員（折本 美佐子君） ありがとうございます。分かりました。

それと、順番が逆になってしまったんですけども、学校情報化先進地域の認定が福岡県で5番目、全国でも35番目ということで、私は伺ったときに、本当に築上町のことかとびっくりして、うれしい驚きでした。今後ともよろしくお願いいたします。

それと、この資料に載っているデータ、全国平均を上回っていたり、ほぼ全国平均を上回って

いて、福岡県よりも築上町が上回っているデータを見て、本当に数年前までは、10年ぐらい前は、京築で下から2番目って言われた記憶が物すごく私の中にこびりついていたので、それを思うと、物すごくいろんなことが進められて、先生方の努力のおかげで、学力に反映、子どもたちの伸びに反映しているということは本当にうれしいことだと思います。

学校訪問をするときに、現場の先生方の様子を拝見しても、この数年で取り組み方がますますよくなってきて、先生方も生き生きとされている方も多くなってきたと思いますので、ICTの導入とともに、先生方のメンタルの方も同じほうに向いて、いい形にいつているんじゃないかというのをこの数年感じているところです。どうぞこれからもよろしくをお願いします。

○教育長（久保 ひろみ君） ありがとうございます。宮内指導主事、お願いします。

○指導主事（宮内 智久君） 宮内でございます。認定されれば、福岡県で5番目ということで、目指しております。それから、ありがとうございます。ずっと見ていただいて、先生の伸びというのを褒めいただき、先生方に伝えていきたいと思っているところでございますが、この推進計画は、もう一つは先生方の働き方改革が入っております。校務支援です。そういった意味で、ICTを使いながら、ペーパーレスとか、時間短縮、そういったものに取り組んでいきたいと思っておりますので、どうぞ、よろしくお願ひいたします。

○教育長（久保 ひろみ君） 他の委員さん方いかがでしょうか。小林委員、お願ひいたします。

○教育委員（小林 正尚君） 直接これにどうのじゃないんですが、例えば、デジタル教科書の充実とか、築上町の教育にかける予算というか、非常にすばらしいと思います。昔から築上町の学校の予算については、結構よそに比べてすごくお金かけていてすごいと思います。こういった先進的に行っているところを、ぜひアピールすることも、築上町のホームページでもいいし、こういうものを知ってもらおうというのは非常に大事で、そこから口伝えていって、少しでも築上町へ、あそこで子育てっていうんで集まればいいかと思ひます。

以上です。

○教育長（久保 ひろみ君） ありがとうございます。指導主事、お願いします。

○指導主事（宮内 智久君） 宮内でございます。どうもありがとうございます。

デジタル教科書につきましては申しておりませんでしたけれども、先ほど、文科省は英語ともう一つということだったんですが、残りの国語、算数、数学、理科等につきましては町費ということにいただいておりますので、やはり、そこまで町がしてくれるのかということ、皆さん、よそのところから聞くと、うらやましいという声がかかれておりました。

そういった意味で、これからも本当に力を入れていきたいと思っているところでございます。

以上です。

○教育長（久保 ひろみ君） ありがとうございます。このデジタル教科書を入れた、授業を見て

いただいていると思います。本当に活用していただいております。

ただ、先生方に私どもが申しますのは、これは当たり前ではない、こういうふうに充実したデジタル教科書を入れていただいているということは、有効に活用して、子どもたちの力をつけていく、そのために先生たちが工夫して使ってくださいという話をよくするんですけども、今日の委員さん方のお話も先生方にお伝えしたいと思っております。

宮内指導主事、お願いします。

○指導主事（宮内 智久君） 本来は寺門が申すところなんですけれども、そのデジタル教科書を使った予習学習、これは県の指定を受けておまして、来年は3年目で、デジタル教科書を使って予習をして、また、授業にどう生かしていくかという研究成果を来年度発表させていただきますので、その際には、どうぞよろしく願いいたします。

もう1点、ホームページにつきましては、今日、学校だよりをお配りしておりますけれども、その中で、椎田中学校の学校だより、2つお配りしておりますが、椎田小学校が一番最初にあるところのクリップ止めのとじたやつで、椎田中学校はうしろから見られたほうがいいのかと思いましたが、その中で、ホームページを作りかえましたということで入っているかと思えます。

校長会におきましても、ホームページ、ただ1枚でというよりも、やはりこれを見て、保護者やまたは他の地域の方々が、これを見て、築上町、ちょっと行ってみようとか、そういうふうに見えるようなホームページ、そして、このことを通しながらペーパーレスを実現していこうということをお願いしているところでございます。

早速、椎田中学校はそういうような内容で、大変すばらしいものになっているかと思っておりますので、参考までに御覧いただきたいと思っております。

○教育長（久保 ひろみ君） 他の委員さん方はいかがでしょうか。麥田委員、お願いいたします。

○教育委員（麥田 猛美君） 全体的には賛成で、どんどん進めてほしいんですけども、一方で、不安がやはりあるんです。それは、15ページに書かれますように、個人情報であったりとか、情報セキュリティの対策を合わせてどうやって進めていくかというところも少し明らかにしておかないと、やはり抽象的で、何をしようとしているかというのは、ちょっと分からないところがあります。今、世の中で問題になっているのはその部分じゃないかと思っています。いろんな不幸なことが起こっているわけで、その管理をどこまでできるかというところは、ぜひ、併せて研修なり、個人の力量はある程度高めていかないと、1つ使い方を間違えると大変なことになるということは考えられますので、ぜひ、併せて進めていただければというふうに、個人的な希望はあります。

以上です。

○指導主事（宮内 智久君） 宮内でございます。御指摘どうもありがとうございます。

その点に関しましては、やはり、教員のICT活用能力、教員の指導力がそれには入っておりますし、全体研修で、来年度そういう研修を行うことも考えております。計画しております。

ただ、クラウド、それを中心にしておりますので、そういった情報、昔みたいな情報漏れというのはそこまではないんですが、あと、子どもたちの使い方でございます。それに関しまして、今のところ、もう3年近くになりますが、問題になったのは1件のみ、いらぬものを見ていたと。本町はユーチューブとかいうのは自由に見せるようにしております。基本的なフィルターはかけておりますけれども、ユーチューブを禁止してしまうと何もできなくなります。文科省でさえ、いろんな教材をユーチューブで発信しているわけです。

いろんな課題、全国的には、まだユーチューブを許可していない地域もある。それではタブレットの使い方が全然だめなので、そういうのを見るようにして、それについて、学校で十分、学期に1回は指導をするようにはお願いしているところでございます。

また、本町は使う時間の制限をしております。中学生では11時まで、朝は6時ぐらい。結構、そういうふうなものを見るのは、そのあとの時間帯が多いということで。だから、今のところはそういう時間制限をしておりますので、先ほど申しましたように、3年間で1件のみということでございます。

今後、気を緩めずに指導のほうを徹底していきたいと思っております。ありがとうございます。

○教育長（久保 ひろみ君） ありがとうございます。本当に、ICTを活用してDXを進めていくという中で、御指摘をいただいた、非常にデジタルを進めていくために必要なことではないか、そして、そこにやっぱり心も込めて育てていくということで、それこそ、デジタルシティズンシップと申しますか、そういうものは、これからしっかりと併せて進めてまいりたいと思っております。ありがとうございます。

それでは、鱒淵委員、何かありますか。お願いします。

○教育委員（鱒淵 尚徳君） 鱒淵です。認定校の、A4版の、認定校になりましたという紙を見るようになって、すごいって、ちょっと感じたところだったんですけど、あと1個、先日、夢授業という、キャリア教育の一環でやっている授業で、タブレットを持ってきて、メモ代わりに打っている光景が見られたんです。これはすごいと思った反面、打つのに一生懸命で、職業人がしゃべっていることが伝わっているのかという反省点もちょっと出たところなので、タブレットはタブレットで打つ時間、今から1分間で打つてねとかっていう、そういう進め方とか、やっぱり聞くときは聞くという、そういうのがちょっとあったほうがいいのかと、ちょっとこの前、思ったところでございます。

○教育長（久保 ひろみ君） ありがとうございます。子どもたちは随分この頃、タブレットでも

ブラインドタッチで、打つようになってきておりますが、話すほうと、今度は話している人が本当に聞いているかというようなところもあるので、やはり使い方というのはこれから重要なところかと思っておりますので、その辺のところは、TPO、そこに合わせてどう活用していくかということも、これから学校の中で使い方も含めて検討させていただきたいと思っております。本当にありがとうございます。

今、一通り、委員さんのほうからいろいろ意見いただきましたが、この議案について、特にこれだけはあるような御意見、それから、御質問等があれば伺いたいと思っておりますが、いかがでしょうか。よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○教育長（久保 ひろみ君） 他に質問、御意見がないようですので、採決を行いたいと思っております。よろしいですか。

では、議案第4号 築上町学校教育情報化推進計画の策定について、承認することに賛成の方の挙手を求めます。

〔全員挙手〕

○教育長（久保 ひろみ君） 挙手多数と認めます。議案第4号 築上町学校教育情報化推進計画の策定について、承認することに決定いたしました。

#### （6）協議事項

##### ①「築上町立小中学校適正配置基本計画」について

○教育長（久保 ひろみ君） それでは、続いて、協議事項に移りたいと思っております。

協議事項の①築上町立小中学校適正配置基本計画について、事務局から説明をお願いいたします。

○学校教育課長（鍛冶 孝広君） 学校教育課、鍛冶でございます。築上町立小中学校適正配置基本計画についてということで、本日は、この基本計画の最終の方向性について、御協議いただきたいというふうに思っております。

まず、一昨日、26日に開催をいたしました適正配置基本計画検討会議、委員の皆様、御出席をいただきましてありがとうございました。当日は、町長をはじめ、34名の委員の方の御出席をいただいたところでございます。

状況については、委員御出席をいただいておりますので、詳しい報告は省略をさせていただきたいというふうに思っておりますが、概略としては、昨年末に開催をいたしましたそれぞれの中学校区部会の報告、その後、各学校単位、それから、保育園代表、それから、町P連の会長から、基本計画に対する御意見をいただいたところでございます。

まず、椎田中学校区につきましては、それぞれ御意見をいただいたところでございますが、委

員もお聞きのとおりでございますが、特に反対の意見というのはございませんで、小中一貫校になることへの不安や課題、それから、学校の位置が変わるということで通学の問題、それから、廃校になった学校の跡地利用等について具体案を示してほしいというような御意見でした。

また、小原小学校については、児童数の減少による学校運営の問題、その点を言われておりました。教職員の配置についての御意見、御要望等がございました。そういう学校運営の観点から1日でも早く再編をしてほしいというような御意見があったところでございます。

それから、築城中学区部会につきましては、まず、築城小学校から、令和9年度に築城小、下城井小、上城井小が築城小学校に再編されるということについては異議がないということの御意見、それから、築城小、上城井小、下城井小の子どもたちにとってよりよい学びを進めることができるよう、早く諸問題を解決をして教育内容の検討、これをしてほしいというような御意見があったところでございますが、下城井小学校、それから、上城井小学校、両校については、それぞれ学校を存続させてほしいという御意見でございました。

特に、上城井小学校については、いろいろ御意見がございました。小規模校だからできることがあるということ、それから、地域全体で子どもたちを育てている、そういう学校だという御意見、さらに、小規模特認校での存続を希望するというような御意見もあったところでございます。

本日は、一昨日の会議の皆様御意見、それを踏まえまして、本適正配置基本計画の最終的な方向性について御協議をお願いしたいと考えているところでございます。どうぞよろしく願いいたします。

**○教育長（久保 ひろみ君）** ただいま事務局より、築上町立小中学校適正配置基本計画について、一昨日開催しました検討会議の概略について報告をさせていただきました。

委員の皆様方もお聞きのとおり、一昨日の会議を踏まえて御意見、そしてまた、今後の方向性についてどのようにお考えかということで御意見を伺いたいということで設定しておりますので、どの角度からでも結構でございますので、御意見いただければと思います。よろしく願いいたします。どうでしょうか。小林委員、お願いいたします。

**○教育委員（小林 正尚君）** 先日の会議、御意見を聞いて、おおむね椎田地区のほうは思ったよりみんなあっさりというか、一緒にワンチームでやっていこうという方向の意見が多かったと思います。多分、地域のほうも、例えば子ども会にしてもそうだけど、みんな、この少子化はやむを得ないという気持ちだが、椎田地区のほうは非常に高いんじゃないかと思えます。

あと、築城地区のほう、城井谷の文化とか、いろいろあって、そこら辺の思い入れとかが、非常に熱い地域だと思います。先日のような、一部、意見もありましたけど、基本的には小中一貫教育、ソフト面のほうにつきましては、皆さん賛成じゃないかと思えます。一貫して子どもたちの力をつけていくところは賛成だと思いますので、築城地区については、当面、存続という希望

があるのであれば、そちらの方向でもしばらくいいのかなというふうに個人的には思いました。  
以上です。

○教育長（久保 ひろみ君） ありがとうございます。椎田中学校区、築城中学校区では、少し違う意見が出たということですが、そこそこの部分で尊重してはというようなところではなかったかと思うんですが、他の委員さん方、いかがだったでしょうか。折本委員、お願いいたします。

○教育委員（折本 美佐子君） 折本です。私は、自分が幼いときにこちらに引っ越しってきて、築城町のときに下城井小学校で自分自身お世話になって、築上町になって結婚はしましたがこちらに住みましたので、子どもたち2人も下城井にお世話になりました。その頃から、築上町になって子どもたちがお世話になったときからも人数が少なくて統合が必要じゃないかと、私がそこに住む教育委員としてもそうですけれども、そこに住んでいて体験していたことを元に、やはり統合がいいんじゃないだろうかと思って、この計画を教育委員会とともに賛成して進めてきたわけなんですけれども、でも、約1年間にわたって、主に上城井、下城井の話をいろいろ聞くにつけ、やはり、この気持ちというのは無視できない。もともと教育委員会の、この推進に当たっては、地域、保護者の反対がある場合はそれは無視できないというふうな方針だったと思いますので、私、1人の教育委員としては、統合したほうがいいという思いはあるんですけれども、でも、やはり地域の子どものこと、保護者のこと、地域のことを考えると無視はできないと思いますので、結果的には小林委員と同じです。

以上です。

○教育長（久保 ひろみ君） これまで教育委員会の中で様々な協議をしながら、子どもたちにとってというところで、適正配置基本計画という形にまとめてきた中、そして、それを説明してきた中での御意見を聞いてという折本委員の今の御意見ではなかったかというふうに思っております。ありがとうございます。

どうでしょう。鱒淵委員、お願いいたします。

○教育委員（鱒淵 尚徳君） 鱒淵です。両委員さんとほとんど同じにはなるんですけど、椎田中学校区は、やっぱり耐震の問題とかいろいろあるので早く進めてほしいというその意見は分かります。子どもが今まで通っていた学校で、やっぱり壁が落ちてくるとか、いろいろあったところもあるし、中学校は老朽化が、やっぱり激しかったというところもあるので、その地域も、多分、そういうことを知っているの、そういう意見になっているんだと思います。

築城中学校区は、いろんな伝統行事とかもあると思うので、時間をかけて話していくというのも必要かなというふうには感じましたし、あと、町P連の会長が言っていたように、PTAの再編というところの問題もあると思うんです。ただ、教頭先生がいないと事務局ができないという

ところもあると思うので、その辺の学校を踏まえた保護者等を含めた意見交換の場というのも、もう少し必要かというところは感じました。

○教育長（久保 ひろみ君） ありがとうございます。当然、PTA活動等との関連もあるということで御意見も出ていたようですので、その辺のところは、もう少し話し込んでいくというか、どうするかというところは、町P連等とも意見交換、情報交換しなければならないかというふうには私も思ったところでした。麥田委員、お願いいたします。

○教育委員（麥田 猛美君） 麥田です。建物で言えば、40年ぐらい前に老朽化の兆候は現れておりまして、私がまだ教員になって10年目ぐらいからまずいんじゃないのということで、自分の学校しか、そのときは築城中学校しか見ていませんでしたから、今は立派になっているのでいいんですけど。大体、その流れでずっと建物を見ていて、それから、夜間巡回とかいろんな、昼間以外の時間帯に施設設備を合わせて見て回ってましたから、ひび割れであったりとか、剥離しているとか、落下しているとかいうことは、もう築城中学校だけじゃなくて全体的にずっと蔓延しているという言い方は悪いんですけど確認できました。そういうこともあって、やっぱり建物自体から少し考えていかないけんのやないかという思いはどこかでありました。

ずっとそうやって入れ物のほうはかなり老朽化が進んで、人間も老朽化していっていますけど、何とかしてやらんとかわいそうだと。やっぱり環境面で、安全で、安心して学べる場というのを、まず第一番目に考えたほうがいいんじゃないかと思って、ずっと話し合いはしてまいりました。

あと、会に参加して思うのは、個人の思いは100人おったら100人違うわけですから、結局、1つにはなかなかないだろうとは思っています。だから、具体的にどの時点で結論をはっきり出すかという見通し、区切りを示して、もう一回話し合いをしていかないけんと。このままずっといったって、ずっと噛み合うわけがないわけですから、そういう一つの目印を、どの代表の方とお話するかは分からないんですけど、そういう場合は、具体的な計画をまず作る場面をもう一回作って、そして、中身をどうするかということでもういいんじゃないかと。だから、ここで一呼吸置くのは大事だとは思っています。勢いのままにいけないというふうには思いますので。

ただ、一呼吸をするんだけど、次、誰とどんな形で具体的に話を進めていくかという場面をやっぱりもう一回作っていかなければ、教育委員だけで何か、これ以上具体的にと言ってももう限界があるから、今まで話してきた中身を大事にしながら、新しい組織じゃないですけど、検討する場を作ってでもしていかなんといかんかと思っています。

だから、もう待たなしの状態ではあります。これでいったら、高速道路とか、トンネルとか、ああいうのと一緒で、いつ、大きな災害が起こったときに耐えられるかというところは常にあります。昔の木造校舎だったら、木を植えて、木の部分だけを取り替えればよかったですけど、コンクリはもうだめです。コンクリとか、鉄筋とかのレベルになると、個人ではできないし、大

きな事業になるし、お金もかかるしということで、その辺をもう一回整理して、何年計画で進めましようというところがないと、いつできるか分からん状態でいったって、環境はずっと悪くなっていったるわけですから、それはちょっとあんまりかなという気持ちがあります。

その辺の具体的なところを、どんなところまで決めれるか分かりませんが、お金の伴うことでしょうか、なかなか難しいでしょうとは思いますが。

不安はあります。遅れることに対する不安もあるし、進めることに対する不安も、当然、同じくらいあります。

以上です。

○教育長（久保 ひろみ君） 今、それぞれ委員さんのほうから御意見をいただいておりますので、このことだけはこのことがあれば、また時間を設定します。

ちょっと事務局のほうからも今後の見通しというか、お話を課長のほうからしていただきたいと思っております。

○学校教育課長（鍛治 孝広君） 学校教育課の鍛治でございます。今、麥田委員が言われたように、どこかで1回整理をするというのが事務局としては必要だというふうに思っております。

一昨日の検討会議の中でもお話をさせていただきましたが、統廃合、学校再編については、事務的な時間が約3年はかかるだろうというふうに事務局では見ております。

ですから、椎田中学校区については、今、令和9年度ということを目標にしておりますので、再編に向けては、スケジュール的に言えば、今年度中にある程度方針を決定をさせていただく必要があるかというふうに思っております。

会議の中でもお話をさせていただきましたが、事務局としては、この3月末までに再編に向けた実施計画案を策定をして、当然、実施計画案については教育委員さんの御議論をいただきたいというふうに思っておりますし、あとは町長との総合教育会議を通じての御意見も伺いながら、実施計画案を3月末までには決定をしたいというふうに思っているところです。

4月以降、速やかにそれを公表する等、手続きを踏んでいきたいというふうに思っておりますので、本日御協議いただきたいのも、一応、スケジュール的には、この3月末が1つの区切りかというふうに思っております。

○教育長（久保 ひろみ君） 検討会議の中で出てきました意見を、私どもも委員の皆さん方の参加の下、聞いておまして、委員の皆様方の御意見を出していただいているところでございますが、おおむね椎田地区については速やかに進めていく、そして、築城地区については計画を一部見直すというところが必要なんではないかというのが、おおむね委員さん方の御意見であったろうと思っておりますし、また、麥田委員からは、やはり具体的に、いつまでに、どのようなというようなところを示しながら進めていかなければならないというような御意見ではなかったかと思っております。

おります。

いずれにしても、当初からお話していますように、皆様方、特にそれぞれの校区の皆様方の御意見を伺いながら、真摯に受け止めて、そして、合意形成と申しますか、しっかり同意を得ながら進めていくということからすると、やはり上城井地区、下城井地区については、当初の計画どおりではなかなか難しいのかなというような、私はそういう印象を持ったところございまして、その辺が判断材料になるのかなと思っていて、今日、委員の皆様方に御意見を多々いただきましたし、また、次回の教育委員会の中では、会議のまとめを私どものほうでいたしまして、少し文書化したものを示させていただきながら、先ほど課長が申しました実施計画案という形にまとめて、それを基に、また話し合いをしていく。そして、そこである程度、委員の皆様方がこれでいってはどうかというものができると思われますので、それを総合教育会議にかけまして、町長の御意見をいただきながらという形になろうかと思っておりますが、どうでしょうか。その中で、ぜひ、この部分は入れてほしいとか、こういうふうにしてはどうかというようなところがあれば、委員の皆さん方からいただけたらいいですし、また、私は常に、実は自宅に帰っても、どうだろうか、こうしたらどうだろうかなんて考えたりしまして、その中で、また考えが少し浮かんだりとかすれば、また、その時点でメールですとか、連絡とかもしていただいても結構ですし、次回の教育委員会の中で出していただけたらどうかと思いますが。いかがでしょうか。

麥田委員、お願いします。

○教育委員（**麥田 猛美君**） 麥田です。前も多分申し上げたと思うんですけど、何年か前に出された学校の長寿命化計画というのがありました。あれとの矛盾が本当はないかどうかというのをいつも思っているんですけど、その辺のところも合わせて一緒にして、あれはあれでよかったのかどうかということも含めてですけど、やっぱり、きちんと示し直す必要があるのではないかと、いうふうに私は思います。その辺は、ぜひ、検討していただければと思います。

○教育長（**久保 ひろみ君**） 鍛冶課長、お願いします。

○学校教育課長（**鍛冶 孝広君**） 学校教育課の鍛冶でございます。前回の教育委員会でも長寿命化計画について御質問いただいたというふうに思っております。

一応、学校教育課としては、現在の長寿命化計画の見直しをしなくてはいけないというところで準備をしているところでございますが、最終的には、この適正配置の方針が定まらないと、長寿命化計画のほうの計画の見直しもできないということで、担当課としては、この適正配置の方針が定まれば、長寿命化計画の見直しに着手をしたいというふうに考えているところでございます。

○教育長（**久保 ひろみ君**） 委員のみな様方、それぞれ一通り御意見いただきましたが、今日、これだけというのはあれば出していただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

折本委員、お願いします。

○教育委員（折本 美佐子君） 折本です。うまく言えるかどうか分からないんですが、今、麥田委員がおっしゃられた長寿命化計画とかぶるところがあるのかと思うんですが、これからの話で、今、委員の意見がさっき出ましたので、それから思うと、上城井、下城井存続という流れになったときに、子どもたちの安全は守られるのかというところ、その辺の確証が、建物とか、要るのではないかという気がいたしましたので、もし、次の会議までに何かそういう資料なりが提出できるのであればお願いしたいと思いました。

以上です。

○教育長（久保 ひろみ君） 鍛冶課長、お願いします。

○学校教育課長（鍛冶 孝広君） 学校教育課の鍛冶でございます。委員おっしゃるとおり、もし存続させるとなれば、やっぱり校舎の問題が発生してくると思います。その辺のところも踏まえて、検討させていただきたいというふうに思っております。

○教育長（久保 ひろみ君） それでは、この案件については次回も継続して協議を行うということでございますので、また、お帰りになっていろいろありましたら、次回の教育委員会の中で、どうぞ御意見を出していただきたいと思っております。

それでは、課長、お願いいたします。

○学校教育課長（鍛冶 孝広君） 学校教育課の鍛冶でございます。後ほどお話をさせていただこうと思っていたんですが、次回の教育委員会会議は教職員の人事の関係があつて3月6日に開催をさせていただきたいと思っております。またあと時間等は調整をさせていただきますが、一応、事務局としては、今の委員さんの御発言、御意見を踏まえて、上城井小と下城井小については、一旦、立ち止まって計画を見直すという方向で整理をさせていただくということによろしいですか。

分かりました。では、次回までにそういった方向で、どれだけの資料が出せるか分かりませんが、検討を進めてまいりたいというふうに思います。

○教育委員（麥田 猛美君） 時間とか、できれば午前中でないと、午後は予定が入っているんです。

○教育長（久保 ひろみ君） どうぞ、課長お願いします。

○学校教育課長（鍛冶 孝広君） 一応、6日の11時から校長会を入れておりまして、校長会終了後、速やかに各学校の異動を、校長先生に異動を教育長からお伝えするということになっておりまして、終了が12時半ぐらいになるかと。開会は1時を今のところ予定をしているんですが。

○教育長（久保 ひろみ君） それでは、6日の件はいかがでしょうか、皆さん。他の委員の皆さんは。すみません。よろしくお願いいたします。

では、協議事項のほうはよろしいでしょうか。

(7) 連絡事項

○教育長（久保ひろみ君） それでは、続いて、7、連絡事項です。事務局、お願いいたします。

○学校教育課長（鍛治 孝広君） 連絡事項でございます。資料のほうを御覧ください。

まず、1点目の築上塾の閉講式です。小学校と中学校、それぞれ記載をしております。中学校については、2月24日に終了しております。小学校、3月16日、閉講式ということになってございます。

2点目が、八津田小学校の新校舎の落成式です。3月21日木曜日、10時から開式でございます。場所は八津田小学校の体育館ということでございます。

3点目が、令和5年度教職員退職者辞令交付式です。3月29日金曜日、9時からです。本庁3階、3-1、3-2会議室です。御出席のほど、よろしくお願いいたします。

それから、4点目が、令和6年度の教職員辞令交付式です。4月1日月曜日、10時30分から。場所は同じく本庁3階、3-1、3-2会議室です。

それから、5点目が、令和6年度の小中学校の入学式の日程です。小学校4月11日木曜日、10時から、中学校が4月10日水曜日、10時からということでございます。

連絡事項については以上でございます。

(8) その他

○教育長（久保 ひろみ君） それでは、その他です。事務局、何かありますか。

○学校教育課長（鍛治 孝広君） 学校教育課の鍛治でございます。今日、委員のお手元に卒業式の教育委員会告示を配布させていただいております。中身、御確認をお願いいたします。

事務局からは以上でございます。

○教育長（久保 ひろみ君） よろしいですか。あとで御確認をお願いいたします。

委員の皆様方、その他事項はございませんでしょうか。折本委員、お願いします。

○教育委員（折本 美佐子君） 折本です。さっき給食の話が出たときに言えばよかったかもしれませんが、うずらの卵のかわいそうな事件というか事故が起きてしまいましたが、築上町では、日頃から気をつけているとは思いますが、いま一度、給食指導のほうも、よくかんで食べるようにとか、やはり、そういう呼びかけは必要だと思いますので、よろしくお願いいたします。

○教育長（久保 ひろみ君） ありがとうございます。本当に食べるということ、そこはしっかりと時間も必要ですし、発達段階に応じて適切な指導というものをしていくようにしてまいりたいと思います。ありがとうございます。

ほか委員の皆様方はございませんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

(9) 閉会

○教育長（久保 ひろみ君） それでは、これで令和6年2月の定例会を閉会いたします。なお、引き続き、非公開案件についての報告を行いたいと思いますので、委員の皆様方はそのまま着席をお願いいたします。傍聴の方々は退席をお願いいたします。

午前11時05分閉会

---